KARIGANE

かりがね

No 405

[季刊] かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会
昭和 54 年 9 月 26 日　第三種郵便物認可
3、6、9、12 月 1 日発行
2024 年 6 月 1 日発行

愛

Contents

表紙　ライフステージかりがね
裏表紙　地域の方々　書道用半紙寄付のお願い　編集後記
理事長あいさつ……1P
総合施設長あいさつ ……2P
ライフステージへの想いをのせて ……3P
楽しく過ごせる毎日を　在宅支援センターえ～る……4P
2024 年度　職務分担表 ……5P
感謝録　おくやみ ……6P

新たな取り組みの土台となる年に

「地域の全人生に幸せを～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～」

理事長　小林　彰

より関係機関との連携を深めて

法人設立から46年目、かりがね学園（現ライフステージかりがね）開園から45年目を迎えることができました。ご家族様、運営会員の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様等々、多くの方々にご協力、ご理解をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

2023年度はコロナ禍でなかなか取り組めなかった地域との繋がりを再開させていただきました。特筆することは、様々な団体や機関と一緒にイベント等に取り組んだことです。これまで継続してきた子ども食堂（グリュックの会）や、さなだ支え合い会議（食料等の配布、講演会、地域探訪等）のほか、グリュックの会との共催で「にじいろフェスティバル」を開催しました。今年度は、医療・看護・保健・介護・福祉などの関係者で立ち上がった「さなだの福祉を考える会」への参加や、各事業所を通じた地域との交流により積極的に取り組んでまいります。

OIDEYOハウスの移転を契機に

長年懸案であったOIDEYOハウスの移転ですが、土地取得の目途が立ってまいりました。現在のOIDEYOハウスは災害の不安がある、分場との距離が離れており行き来に時間を要する、ご利用者様が自力では通所が難しい等の課題があり、移転は是が非でも実現したい案件でした。土地の取得が実現した段階で、プロジェクト等でOIDEYOハウスの移転だけでなく、通所事業所のあり方や地域交流拠点といった視点からも検討を重ね、ご利用者様やご家族様、地域の皆様に喜んでいただけるような取り組みにしていきたいと考えております。

働きやすい職場環境を目指して

人財確保や人財育成とともに大切にしたいのが、スタッフが安心して働き続けられる職場環境の整備です。現在働いているスタッフが、ずっと勤めたいと思えるような法人、事業所でありたいと考えております。残業時間が少ない、有給休暇が取りやすい、できれば年に1度くらいは連続した長期の有給休暇が取れる、資格取得についての支援があるといったことも、安心してやりがいを感じ働き続けていくためには大切にしたいことです。ご利用者様やご家族とのより良い関係を築き、より望ましい支援をしていくためには、スタッフが心身ともに健康で幸せな心持ちでいることが必要です。自分自身が幸せでなければ、周りの人たちの幸せを考えることは非常に難しいことになります。

お子さんを授かりたいと考えているスタッフへの支援、育児休業や育児時間、介護休業、介護休暇の保証、子育て中のスタッフへの支援（恵仁福祉協会と共同経営をしている企業内保育所「ナーサリーさなだ」の利用）等で安心して働き続けられるようにしてまいります。

引き続き温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

新しい年度を迎えるにあたり

総合施設長　遠藤　良和

季節外れの大雪に驚いた3月に別れを告げ、桜舞い散るうららかな4月の風のなか、新たなスタートに胸躍る時期となりましたが、ご利用者様、ご家族の皆様、そして、地域の皆様、運営会員の皆様、関係各機関の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当法人の運営につきましては、日頃より格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年度開始にあたり、以下に重点的に取り組んでまいりたい目標を述べさせていただきます。

人財の確保と育成への取り組み

厳しい状況が続く福祉人財の確保が業界全体の重要な問題と言われて久しいことは、これまでも申し上げてまいりましたが、今年度もその中でいかにして貴重な人財を確保することができるか、事業所主幹会議メンバーを中心に検討し、新しいアイデアを実行していきたいと思います。具体的には、これまでも続けてきた各種媒体を活用した広報活動に加え、法人の特色や独自性、支援業務や職場の魅力を積極的にアピールすることで、新規学卒の方のみならず、中途採用の方にも興味を持っていただけるような求人活動を展開していきたいと考えています。

スタッフの育成については、毎年、新たな項目を加えている内部研修の充実に引き続き努め、外部研修への積極的な派遣、人事考課制度の確立とあわせて、事業所全体が力を付けていくことを目指します。また、二年前から計画・実行してきた各事業所のサービス管理責任者などの次世代移行が今年度、本格的に実現する運びとなったことから、今後も引き続き、各事業所の若手スタッフに責任が伴う業務を学んでもらう機会を作り、将来の担い手を育成するとともに事業所のスタッフ層を厚くしていくための取り組みを続けていきたいと考えております。

ご利用者様が安心して暮らせる環境作り

各生活事業所でご高齢のご利用者様が増加しており、重度高齢化による身体機能の低下、ご病気や障がいの進行など、様々な理由により、事業所の業務やスタッフ体制に大きな変容が迫られています。通院や日常的な処置などの医療ニーズが増大し、介護度の上昇により、支援現場でもより高度な介護の専門性が求められるなど、目の前に課題は山積しておりますが、法人内の各職種の連携・協働をベースにして、ご高齢のご利用者様に安心して生活していただける持続可能な支援体制を一歩ずつ構築していくことを目標にしたいと考えています。

また、人生の最終ステージにおいては、ご本人・ご家族のご意向を尊重した看護、介護がなされ、協力医療機関や外部の専門機関の皆様のお力もお借りして、ご本人のみならず、お送りする全員が納得してその時を迎えられるような支援のあり方を考えていきたいと思います。

先達の奮闘に思いを馳せて

着想から長い年月をかけて法人の創設からの歴史を追った書籍『これでいいのか　大丈夫。さあ、いっしょにゆこう。』が刊行されました。この書籍は、法人創設の理念とそれに導かれる45年の歴史を後世に伝えることを目的としています。また、今年度は法人を支えてくださった先輩方から直接、当時の取り組みや大切にしてきたことをご教授いただく機会をいただけることになりました。この節目の年を迎え、法人スタッフ全員が法人の歴史と先達の奮闘に思いを馳せる一年にしたいと考えております。

今年度も変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

ライフステージへの想いをのせて

今回、ライフステージかりがねのスタッフ３名に、職場への想いを書いていただきました。

かりがね福祉会に入職し、ライフステージかりがねに配属され１年が経ちました。ライフステージかりがねは、毎日温かい雰囲気に包まれています。出勤すると、温かく「○○さんだ！」とご利用者様が声をかけて下さり、私も温かい気持ちになります。スタッフの方々もとても優しく、何か困ったことはないかと気にかけて下さります。私は、介護とは全く違う学部から入職しました。右も左も分からず不安でいっぱいでしたが、丁寧に教えて下さり、また気さくに話しかけて下さり不安も緊張も薄れてきました。また、「前よりこれが上手になったね」とも入職当時より声をかけられることが増え、壁が薄れてきたかなと嬉しく思います。これからも、この温かい雰囲気創りに貢献していきたいなと思います。

（原田倫佳）

今年度で入職してから５年目になります。初めは経験が全くなく右も左もわからなかったですが、先輩方が優しく丁寧に接して下さり、働きやすい環境で仕事に取り組むことができています。本当に感謝しています。

２年目には機能維持係のリーダーを担当しました。ライフステージかりがねには、様々なご利用者様がいらっしゃり、それぞれのご利用者様の身体的機能を理解し機能の維持、向上のためどんな活動をしていくべきかをスタッフ間で深く考え実践しました。ご利用者様のことを良く知ることができた大事な機会でした。

４年目からはリスクマネジメント委員を務めさせていただいています。リスクマネジメント委員会では、ご利用者様の生活の中でリスクに感じる事例をまとめ、委員会の会議の中で発表し対策を考えていく大事な役割をしていると感じます。スタッフ間で対策を考えれば考えるほど最適な防止策を見つけることができます。協力し合う大切さを学びました。

働いていく中で他にもたくさん学ぶことがあり、日々自分が成長をしているように感じます。これからも小さなことでも目標を見つけ、日々前進していきたいと思います。（堀内瑛人）

ライフステージかりがねに入職し、早４年が経過しました。入った当時はできることも非常に少なく、ご利用者様や他のスタッフの方々に迷惑をかけてしまうことが多かったのですが、沢山の方々に助けていただき、今日まで継続することができました。ご利用者様はひたむきで素直な方々ばかりであり、少しずつコミュニケーションを取ることができるようになりました。中には意思疎通の苦手な方もいらっしゃるのですが、動作などを観て、少しでも意図を汲み取れるように努力しております。スタッフの方々も優しい方ばかりで、気軽に相談を持ち出せることには感謝をしています。いい職場であると感じているので、これからもスタッフの方々と協力し、ご利用者様によりよい支援をお届けできるよう日々邁進していきたいと思います。（小林漢）

楽しく過ごせる毎日を

在宅支援センター え～る　～Sさんの1日～

★2023年度より利用開始され、今年で1年が経ったSさんの1日の活動内容を紹介させていただきます。仲間のご利用者様たちや環境、スタッフにも慣れて、日々に楽しく過ごされています。

午前は公園に行き、お散歩をされています。歩行中は好きな葉っぱを拾ってヒラヒラとさせる事が好きです。

午後はペグ差しや缶潰しの活動に取り組まれています。レクリエーションでは、好きな太鼓を叩きながら参加されています。

★Sさんは養護学校卒業後に利用を開始されました。日々1歩1歩前進され、好きなことへの熱意や活動に取り組む姿勢を感じながら、Sさんの成長を近くで見守っていけたらと思います。今後も新しいこと、やりたいことを一緒に考え、Sさんの成長の糧となるように、日々関わらせていただきたいと考えております。（合原真矢）

2024年度 職務分担表（2024年4月1日現在）

1 かりがね福祉会役員

理事長　小林　彰
副理事長　塚田　弘人
業務執行理事　遠藤　良和
理　事　小林　典子　滝沢　博文　青木　和男
笠原　茂正
監　事　樋口　俊文　横沢　正
評議員　中村　彰　渋沢　俊道　大塚　良治
渡邉　務　宮下　俊哉　千野　祐樹
保母　和子　山宮　正久　青木　千浪

2 法人本部・事務局

総合施設長・事業部長・人事部長補佐　遠藤　良和
財務部長・人事部長　清水　栄紀
アドバイザー　塚田　弘人
スタッフ　西　由美子　堀内　幸広　中村　映舞
浅川　祐未　窪田　真保

3 ライフステージかりがね

管理者（筆頭）　三井　千愛
管理者　坪田　理
主任　長　竜平
サービス管理責任者　松川美由樹　高寺　稔
（サービス管理責任者）中村　史織
アドバイザー　半田　正直
スタッフ　志賀　洋子　坂口みゆき　倉島　佑介
久保田　哲　吉田　美咲　水沢　勇人
唐沢　智衣　牧内　麻美　齋藤めぐみ
小松有加里　堀内　瑛人　林　真奈未
小林　漢　海沼遼太郎　橋詰　千果
髙遠　勇　秋山久美子　篠原　紗衣
峯村ひかり　下城　晃　柏原　伶奈
原田　倫佳　清水　健人　山川　達雄
若林　光莉　河原　孝幸　（米倉　希）
医療　平沢世里子　小林智恵美
牧田万佐子（兼務）
栄養士　渡辺　早紀
朝食支援　山崎　喜代　小林　治藏　関谷　保雄
寄り添い支援　永井久美子　若林　智子
洗濯・清掃　清水まゆみ　阿部　和美

4 共同生活サポートセンター

管理者・サービス管理責任者　山浦　貴志
主任・サービス管理責任者　石坂　千春
サービス管理責任者　堀内　翔一
（サービス管理責任者）川又　亮太
アドバイザー　竹井　達郎（兼務）
スタッフ　北澤　栄子　山崎まゆみ　福原なみ子
佐竹　明　坪田　ゆか　岡崎　慎一
新井　瑞生　尾﨑としえ　中村　智絵
苫米地優介　青木　広美　小室　彰子
吉橋梨々花　島嵜野乃華
食事支援世話人　三井由美子　加藤由美子　久保田靖子
横山　信子

5 さなだの杜

管理者　工藤　淳
主任　奈良　司
サービス提供責任者（重度障害者等包括支援）　髙寺　裕也
サービス管理責任者（共同生活援助）　出浦　友里　田矢　雄介
アドバイザー　竹井　達郎（兼務）
スタッフ　市村　友一　安田　剛　森島　優典
小林　優太　佐々木　崇　唐沢　郁哉
竹内絵里子　内堀　裕也　中島花菜子
片山　智憲　林　明徳　髙井　諒
小林　美優　山﨑　春香
洗濯・清掃　金沢　綾

6 在宅支援センターえーる

管理者　荻原　恒平
主任　脇田加奈恵
サービス提供責任者　的場　真
スタッフ　佐藤ひとみ　佐藤　知里　大池　聡
青木　妙子　齊藤　絢美　合原　真矢
石巻　愛莉　樋沢早帆美（兼務）

7 OIDEYO ハウス

管理者　久保　雅信
主任　堀内　敬祐
サービス管理責任者　関谷　美咲
（サービス管理責任者）北澤　栞
スタッフ　長谷川亜由美　高橋　輝男　平林はるか
小林　裕幸　丸山　貞子　花岡　由衣
大川恵美子　小林あか里
佐田　芽衣（兼務）
医療　櫻井亜津美　堀内のり子

8 アトリエ Fuu

管理者　阿部　達也
主任　関谷　浩行
サービス管理責任者　太田恵里奈
スタッフ　堀内　文康　垂見　美雪　菊地　剛
加藤　美奈　清水真紀子　田矢佳央里
坂口かりん　佐田　芽衣（兼務）
医療　飯島　理佳

9 風の工房

管理者　小田切玄和
主任・サービス管理責任者　古平　卓郎
サービス管理責任者　塩崎　都衣
スタッフ　堀内みな美　伴野　慶　関口誠一郎
豊永多鶴子　矢島美由貴　翠川　清子
佐田　芽衣（兼務）
医療　三浦　佑子　牧田万佐子（兼務）

10 つつじ

管理者　松井　良伸
アドバイザー　小林　彰（兼務）
スタッフ　本多　未郷　高岡恵美子　炭谷さつ子

11 ミライエ

管理者　小林　彰（兼務）
主任・児童発達支援管理責任者　和久井翔太
児童発達支援管理責任者　北沢　成美
スタッフ　髙木かおり　滝沢めぐみ　小市　弥生
樋沢早帆美（兼務）

12 SHAKE（シェイク）

管理者　秋山　京子（出向）
スタッフ　東山　史江　黒岩　芳広
新津　大介（出向）

（各事業所　役職者以外のスタッフ氏名は職員番号順）

新入職員紹介

島嵜　野乃華

山川　達雄

山﨑　春香

若林　光莉

感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます
2024年1月1日−2024年3月31日

寄贈物品

いちごの家　佐藤汰嘉子　青木和男　高寺陽子　小竹昭雄
ジェイエイ長店大久保　堀内東洋子　若林宗夫
牛乳パック　新聞紙　タオル　アルミ缶　トイレットペーパー　ウエス
パソコン（解体用）

寄付金

水沢光豊　青柳順一郎　1,035,000円

2023年度運営会員ご入会者

■長野県　小林彰　樋沢早帆美　橋詰千果　堀内幸広　望月祐子
長竜平　阿部達也　関谷浩行　太田恵里奈　田矢佳央里　坂口かりん
堀内文康　垂見美雪　菊地剛　清水真紀子　中村智絵　秋山京子
新津大介　東山史江　黒岩芳広　清水俊治　関孝之　関谷保雄
中村史織　松井良伸　本多未郷　川岸由佳　高岡恵美子　堀内瑛人
小松有加里　半田正直　唐沢智衣　倉島佑介　関谷美咲　平林はるか
堀内敬祐　北澤栞　久保雅信　長谷川亜由美　高橋輝男　小林裕幸
加藤美奈　丸山貞子　東城治美　大川恵美子　小林あか里
脇田加奈恵　荻原恒平　合原真矢　的場真　佐藤ひとみ　齊藤絢美
石巻愛莉　和久井翔太　北沢成美　髙木かおり　滝沢めぐみ
小市弥生　堀内翔一　山浦貴志　川又亮太　石坂千春　坪田ゆか
髙遠勇　吉橋梨々花　北澤栄子　山崎まゆみ　吉田美咲　岡崎慎一
尾﨑としえ　青木広美　小室彰子　三浦佑子　櫻井亜津美　竹井達郎
金沢美智子　飯島理佳　小林典子　福原なみ子　横山正子　工藤淳
古平卓郎　佐田芽衣　豊永多鶴子　矢島美由貴　関口誠一郎
翠川清子　塩崎都衣　伴野慶　奈良司　佐々木崇　唐沢郁哉
片山智憲　牧内麻美　内堀裕也　中島花菜子　高井諒　久保田哲
塚田弘人　青木和男　北澤雄司　**■東京都**　女子学院
■千葉県　小林茂

2023年度運営会費納入金額（2023年4月1日～2024年3月31日）

	会員数（名）	会費（円）
長野県	332	1,226,980
北海道	3	11,000
東北地方	2	11,000
関東地方	33	329,000
中部地方	5	50,000
北陸地方	6	21,000
近畿地方	4	28,000
中国地方	1	3,000
四国地方	0	0
九州地方	1	100000
合計	387	1,779,980

お　く　や　み

花岡尚敏さん、多くの癒やしをありがとうございました!
2024年2月25日逝去　61歳

花岡さんは、かりがね福祉会開設当初からのご利用者様で、40年以上の在籍を誇るまさにレジェンドと呼ばれてもよい存在でした。ご家族様からもとても愛されて、晩年は毎月の日帰り帰省を楽しみにされていました。スタッフからも人気があり、笑顔を引き出そうと関わるスタッフが多かったです。笑顔はもちろん、ただ目線を送るだけの仕草でも多くの癒やしをいただける存在でしたので、「尚敏ロス」が埋まりません。

お母様のお話で「尚ちゃんは自宅の坂の下にある自動販売機のコーヒーが大好きでね。歩くのが早くて、私は追いつけないんですよ～」というエピソードが印象的でした。今頃は天国でコーヒーを飲んでいらっしゃるのでしょうか。ご冥福をお祈りいたします。

（ライフステージかりがね　高寺稔）

山田よし子さん、ありがとうございました。
2024年2月20日逝去　66歳

山田さんは花柄やピンク色がお好きで、洋服や小物などかわいい物を揃え、ご自分で編まれた帽子やセーターを着られ、とてもお洒落な方でした。食事の制限がありましたので、月に一度、はま寿司への外食を楽しみにされていました。マグロのお寿司が大好物で「美味しい～」と頬張る笑顔のよし子さんが忘れられません。天国ではお好きな物を、お腹いっぱい召し上がっていただけたら嬉しいです。

（共同生活サポートセンター　青木）

よし子さんは得意なことやお好きなことがたくさんある、とても魅力的な方でした。編み物・カラオケ・スイカやトマトの栽培・イケメンのアイドルなど、ご一緒させていただき、楽しかったできごとが次々と思い出されます。中でも編み物が上手で、素敵な作品を作られ皆さんに好評でした。かわいらしい花形のヘアゴムの作品は、今でも私の宝物になっています。よし子さん、今まで本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

（アトリエFuu　清水）

小井土純子さん　今までありがとうございました！！
2024年3月9日逝去　78歳

純子さんはかりがねで約34年間、共に暮らしてこられました。集中して絵を描く様子が印象的で、素敵な作品をたくさん描かれていました。みんなに愛され、いつも周りに人が集まって来られ、癒しを届けて下さいました。

（ライフステージかりがね　小松）

地域の方々 ⑧

天倉チャーチ 川口竹志さん 智恵さん

川口竹志さんは神奈川県平塚市出身。17年前、27歳でキリスト教プロテスタントの牧師になり、2023年夏、上田市真田町長　横尾自治会に移住し、自宅に教会「天倉チャーチ」を開設しました。他にも自家焙煎コーヒーの販売や、農作業、スキーのインストラクターにも取り組まれています。竹志さんは天倉チャーチの活動目的について「やりたいことが分からないと悩む、地域の子ども、若者たちに対し、出会いや情熱を提供したい。個性を評価し、宝物を引き出すコミュニケーションを大切にしたいですね。教会での食事や、農作業を通じて、家族的なだんらんのある共存、共生の場所にしたいです。」と語って下さいました。パートナーの智恵さんは「私たちがまず実践することで、子ども、若者たちと一緒に、やりたいことを共有化していきたいです。」と思いを伝えて下さいました。

（取材・伴野慶）

●連絡先 070―2832―7437

書道用半紙寄付のお願い

○連絡先　風の工房　**0268-72-2151**

風の工房では、日中活動で書道用半紙を使用しています。ご家庭に不要な半紙がありましたら、ご提供よろしくお願いいたします。

編集後記

私はライフワークで合気道に取り組んでいます。仕事の合間に少しずつ稽古して20年以上、昨年ようやく三段になりました。合気道は勝敗を争わず、お互いの心と体を成長させていく技法が特徴であり、現代に活きる愛と調和の武道です。これからも地域の方々と一緒に、和気あいあいと稽古を続けていきたいと思います。支援の現場では時に大変な状況もありますが、ご利用者様とのコミュニケーション、スタッフとのチームワークにおいて、できるだけ落ち着いて構え、臨機応変に対応できるよう日々心掛けています。そこには合気道の精神性、柔軟性、呼吸力に通じる場面が多々あると感じます。まだまだ至らない点も多々ありますが、皆様の心に伝わる機関誌を作成、編集したいと考えております。

（機関誌編集委員長・伴野慶）

運営会員ご加入のお願い

かりがね福祉会は皆様のご支援によって支えられています。会費は法人各施設の設備や備品の充実等のために使われます。また、会員の方には年4回機関誌等を送付しています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。専用振込用紙のお取り寄せ、その他お問い合わせは法人本部までお願い致します。

年会費

1口　1,000円（何口でも結構です）

期間

1年単位（ご入会より1年間）

ご入会方法

●**ゆうちょ銀行**［00550－3－8487］
名義「社会福祉法人　かりがね福祉会」

●**上田信用金庫　真田支店**［普通預金：95578］
名義「社会福祉法人 かりがね福祉会　理事　小林　彰」

社会福祉法人 かりがね福祉会

URL **https://karigane.or.jp**

■法人本部／ライフステージかりがね	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL.0268-72-3431　FAX.0268-72-4406
■つつじ	〒386-2201	長野県上田市真田町長7166-8	TEL.0268-75-5431　FAX.0268-75-5434
■共同生活サポートセンター	〒386-2202	長野県上田市真田町本原531-1（よつばのいえ内）	TEL/FAX.0268-72-2434
■さなだの杜	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL/FAX.0268-72-0133
■在宅支援センターえ～る	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL/FAX.0268-72-8022
■風の工房	〒386-2201	長野県上田市真田町長2464-1	TEL/FAX.0268-72-2151
■OIDEYO ハウス	〒386-2203	長野県上田市真田町傍陽8551-2	TEL/FAX.0268-73-0005
■OIDEYO ハウス（分場）	〒386-2202	長野県上田市真田町本原1491	TEL/FAX.0268-72-5067
■アトリエ Fuu	〒386-2202	長野県上田市真田町本原531-2	TEL/FAX.0268-72-1061
■ミライエ	〒386-2201	長野県上田市真田町長7166-8	TEL/FAX.0268-71-7810

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしています。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。

https://ws.formzu.net/sfgen/S311362702/

［季刊］かりがね
二〇二四年六月　昭和五十四年九月二十六日第三種郵便認可
発行　社会福祉法人かりがね福祉会
編集　機関誌編集委員会
制作・印刷　㈱アオヤギ印刷
【定価】100円